

7/5

一斉クリーン作戦



市内全域で、一斉クリーン作戦を実施しました。

ごみのない清潔で住みよいまちづくりを目指して、各地区の環境保全推進委員長を中心に、地域住民や市内中学校、市ライオンズクラブ、市建設業協会、市内郵便局、筑波銀行など約9,700人が、道路と河川の空き缶やペットボトル、紙くずなどのごみを回収しました。

その結果、可燃ごみ2,510kg、不燃ごみ1,550kg、その他粗大ごみが回収されました。

参加された皆さん、当日は悪天候の中、大変お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。



7/18~

県スポ少軟式野球大会

大宮運動公園市民球場で、各地域の予選を勝ち抜いた33チームが参加して「第32回県スポーツ少年団軟式野球大会」が開催されました。

市内からは、開催地枠で「上野ホワイトナイツ」が出場し、開会式では、瀧純平君（大宮サッカースポーツ少年団）が歓迎の言葉を述べました。



7/5

北原遺跡現地説明会

岩崎地内の国道118号沿いで、市道改良工事に伴う北原遺跡第2次発掘調査が、今年5月から行われました。その調査成果をお披露目する現地説明会が行われ、あいにくの悪天候の中でしたが、約50人が参加しました。

平成25年度に行われた第1次調査では、平安時代の大規模な集落が確認されています。今回の第2次調査では、その集落がさらに広範囲にわたって分布していたことが分かりました。また縄文土器、鎌倉時代の建物の跡、江戸時代の墓の跡など、より幅広い時代の生活の痕跡が見つかっています。



当日は、強かった雨もしだいに落ち着き、集まった皆さんは、はるか昔の岩崎地区の姿に思いをはせることができました。

7/14

文化財パトロール実施中！

文化財は、地域の歴史や文化の成り立ちを理解するうえで、欠くことのできない貴重な歴史的財産で、将来の文化の向上・発展の基礎をなすものです。市には、県・市指定の文化財や遺跡など多くの文化財が所在しています。皆さんも機会があれば、ぜひご覧ください。

また県と市では、これらの貴重な文化財を保護するために、文化財保護指導委員による文化財の巡視を実施しています。第1回巡視は7月14日に実施され、市内の文化財・遺跡について異常のないことを確認しました。なお巡視は年3回予定されていますので、皆さんのお近くへ行った際には、ご協力をよろしくお願いします。



7/1

社会を明るくする運動

市役所で、第65回「社会を明るくする運動」に関する内閣総理大臣からのメッセージが、那珂地区保護司会大宮分会会長 岡山和夫氏ほか2名から市長へ伝達されました。

この運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。



7/19

第6回七夕まつりin緒川

7月16日から19日まで「第6回七夕まつりin緒川」が開催され、上小瀬の宿通りに七夕飾りが飾り付けられました。19日のイベントでは、小瀬高校吹奏楽部の演奏や、フラダンスなどが披露され、祭りを盛り上げていました。



7/5

漆塗り体験教室

山方地域の特産品である漆の素晴らしさを継承していくために、本間健司氏（漆工芸荻房奥久慈の代表）の親切で丁寧な指導のもと、漆塗り体験を実施しました。



小学2年生から60歳代までの市内在住の10人が参加し、それぞれお箸1膳・小皿1枚の作品に、3色（黒、弁柄、すりおろし）から好きな色を選んで、思い思いに漆を塗りました。参加者は、自分だけのオリジナル作品を作るという意気込みで、とても張り切っていました。

この後8月と9月の2回にわたり、さらに塗りや螺鈿^{らでん}付けをして仕上げ、漆掻き見学も行う予定です。



市議会臨時会及び定例会

第2回市議会臨時会が5月1日に、第3回市議会臨時会が7月29日に開会されました。この臨時会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ承認及び可決されました。

専決処分

- 常陸大宮市税条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 平成26年度常陸大宮市一般会計補正予算
- 平成26年度常陸大宮市国民健康保険特別会計補正予算

その他

- 工事請負契約の締結について（道の駅建築工事）
- 工事請負契約の締結について（第二中学校校舎改築及び解体工事）

第2回市議会定例会が6月11日から25日まで開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ可決されました。

条例

- 常陸大宮市介護保険条例の一部を改正する条例

平成27年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計（2会計）補正予算

その他

- 財産の取得について
- 財産の処分について

7/13

農業経営士・青年農業士

県農業経営士を退任した堀江甫さん（小舟）と、新たに県青年農業士に認定された大貫寛一さん（若林）が市長室を訪れ、退任・認定の報告を行いました。

堀江さんは、栽培の中心であるシイタケに加え、かんしょ栽培・干し芋加工・販売に取り組んでいます。認定を受けてから15年間、県や地域の農業振興に貢献しました。今回の退任にあたり、知事から感謝状が授与されました。



▲退任された堀江さん

大貫さんは、ハウスや露地でナスの周年栽培に取り組みながら、市内の若手農業後継者で結成する「常陸大宮5Hクラブ」の会長を務めました。今後とも、地域内外の青年農業者リーダーとしての活躍が期待されることから、このたび青年農業士として知事からの認定を受けました。



▲認定を受けた大貫さん

8/1

長倉七夕まつり

毎年コンクール形式で競う長倉七夕まつりが今年で63回を迎え、長倉宿通りで開催されました。この飾りは、地元の商店や個人などが出店していて、特等賞（知事賞）には、青柳文具店の七夕飾りが選ばれました。

当日は朝から晴天に恵まれ、大抽選会や和太鼓の演奏、打ち上げ花火などが開催され、多くの来場者でにぎわいました。



7/14

全日本大学野球選手権準V

6月に行われた全日本大学野球選手権大会で、準優勝した流通経済大学3年の生田目翼投手（大宮二中出身）が、市役所を訪れました。

面会した市長には、記念ボールにサインを入れてプレゼント。次の大会では優勝したいと、その意気込みを語りました。



◀ 記念ボールを手渡す
生田目選手

7/23

シニア選手権優勝を報告

アマチュアゴルフの第12回県社会人シニア選手権で初優勝を飾った櫻井義則選手（小場）が、市役所を訪れました。

櫻井選手は競技ゴルフを始めて18年、初めての優勝に本人が一番驚いていると、笑顔で市長に報告しました。



◀ 笑顔で優勝を報告する
櫻井選手

7/23

交通安全は家庭から

県交通安全キャラバン隊が、交通安全の意識の高揚と交通事故の防止を広報するため、常陸大宮市へやってきました。

歓迎式では、県母の会連合会の神戸礼子会長から市長へメッセージが伝達され、みのり保育園の和太鼓演奏がキャラバン隊を歓迎しました。



7/24・25

夏祭り（祇園祭） 素鷲神社

甲神社の境内にある素鷲神社の祭礼で、「関東の三大裸祭り」として有名な祇園祭が行われました。

1日目は子たちが神輿を担ぎ、威勢のよいかけ声をかけながら、元気いっぱい練り歩きました。

2日目は大人神輿の登場です。午後7時ごろ、神社の境内でお宮出しが行われ、神輿を前に進めようとする神輿当番町の組と、それを阻止しようとする風流物当番町の組がぶつかり合い、神輿が揉まれ、激しい攻防戦が繰り広げられました。その後、神輿は街の中心部を「オイサ、オイサ」というかけ声とともに勇壮に練り歩き、祭りを盛り上げました。

またイベント会場では、マジックショーやイバライガーショーが行われ、たくさんの来場者でにぎわいました。



▲上が子ども神輿、下が大人神輿

7/29

霞ヶ浦湖上体験

市内小学生とその保護者21人が参加して、霞ヶ浦湖上体験スクールを実施しました。（主催：市環境市民会議）

朝、バスで市役所を出発。行方市にある霞ヶ浦ふれあいランドに着くと、虹の塔展望台に昇り、地上60mから霞ヶ浦を眺めました。この日は霞がかかっていたましたが、晴れた日は富士山も見えるようです。

人間の水分量を実際に量りました▶



その後、水の科学館へ。ここでは、私たちが住む地球と水の関係や、その大切さなどを詳しく知ることができました。また様々な体験や実験ができ、みんな楽しそうにチャレンジしていました。



▲説明を熱心に聞く子どもたち

午後からは、船に乗って湖上体験へ。はじめに霞ヶ浦の歴史や水質について学んだ後、実際に透明度を確認したり、水の濁りを比べたりしました。また汲み上げた霞ヶ浦の水をルーペで確認し、水生生物や微生物を調べました。水道水と湖水の臭いを嗅ぎ比べた子どもたちは、臭い！消毒の臭いがする！など思い思いの感想を口にしていました。

参加した大宮小学校2年生の小林優雅くんは「実際にミジンコを見ることができて、とてもうれしかった。また来年も参加したい。」と話していました。

7/25

おもしろ理科先生

図書情報館に、おもしろ理科先生（飛田隆久先生）が今年もやってきました。今回は、熱で小さく縮むプラスチック板を使って、オリジナルのキーホルダーを作りました。

参加した親子は、好きな絵を描いたり、お気に入りのキャラクターを写し取ったりしながら、一生懸命制作に取り組みました。

絵を描いた後は、プラスチック板をオーブントースターに入れてスイッチオン！板は、熱に縮んだり反り返ったりしながらも、色鮮やかな絵を浮かび上がらせました。完成した作品に、子どもたちは目を輝かせていました。



▲どんなキーホルダーができあがるかな？

7/25

中学卓球で好成績

県民総合体育大会中学校大会の卓球の部で、市内の中学生在が素晴らしい成績を収めました。

シングルの2人は、8月に山梨県で行われる関東大会に出場します。



四倉 鈴 県大会5位
(大宮中学校2年)



佐藤幸美 県大会10位
(明峰中学校2年)



＜ダブルス県大会3位＞
田澤 幹生（明峰中学校3年）
岡山 遥寿（明峰中学校1年）
＊ダブルスは残念ながら
関東大会はありません。

6/17

ほんにし うちかみ ほ ぞんかい 本西の内紙保存会

当市で和紙の代名詞ともなっている「西の内紙」。一尺一寸×一尺六寸（およそ33cm×48cm いわゆる西ノ内判）の和紙であれば、どこで、どのように漉かれた紙でも「西の内」だってことご存知ですか？

市内の地名「西野内」に由来するこの和紙は、もともと当地のオリジナル。そこで、地元産楮を用い、化学薬品等で処理することなく、昔ながらの手作業でちり取りや紙漉きを行って生産した県北産の和紙を、“本場の西の内紙”という意味から「本西の内紙」と命名。このたびその伝統技術の保存・伝承を目的とする生産者団体、「本西の内紙保存会」が結成されました。

当市が誇る伝統産業の、新しいスタートに注目です。



8/12

久慈の杜100キロ徒歩の旅

第8回久慈の杜100キロ徒歩の旅（主催：久慈の杜未来塾）が、市文化センター前広場でゴールを迎えました。これは、子どもたちの生きる力を養うことを目的に、常陸大宮市、常陸太田市、大子町、東海村の小学生が4泊5日にわたって県北地域を歩くものです。

広場では、100キロの行程を歩き抜いた57人を保護者などが大きな拍手で出迎え、参加者は完歩の喜びを互いに分かち合っていました。



▲手をつないでゴールした参加者たち

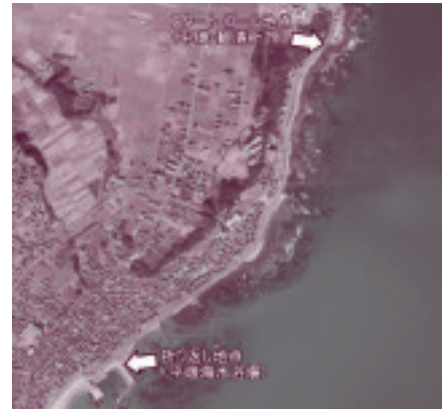
6/20

ノルディックウォーキング体験教室

ひたちなか市平磯で、ノルディックウォーキング体験教室が開催されました。

ノルディックウォーキングは、北欧のスキー競技者が夏場のトレーニングとして始めたものが起源といわれています。2本のポールを使い上半身を活発に使うことで、肩周りのストレッチ効果や運動量増加が見込める健康的なニュースポーツです。

往復約4kmの道のり▶



▲ポールを使っの講習

その後、海沿いの県道約4kmをウォーキングしました。

太平洋を見渡しながらのウォーキングに、参加者からは「気持ちが良い」「思っていた以上に腕にこたえる」との声がありました。

みなとwaiwaiクラブの会員さんからは、「新そばの季節に、常陸大宮市へ行ってウォーキングをしたいなあ」という声も挙がっていました。

参加者最高齢の82歳女性（鷺子在住）は、新聞社の取材に対して「健康のために参加した。若い人の助けがなくても、一人でいつまでも歩いていられるように」と話していました。



▲みなとwaiwaiクラブの係員の皆さん

講師 菊田 利秀

日本ノルディックウォーキング協会公認インストラクター。普段は養護学校の教員として勤務されているとのこと、懇切丁寧な指導をしていただきました。

